

「逃げる」施策

情報提供の取組み

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



【気象庁】
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
 (出典：気象庁ホームページより)

【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
<携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
【国土交通省 XRAIN GIS版 レーダ雨量情報】
<http://www.river.go.jp/x/xmn0107010.php>

【NHK暮らし安全】 大阪市
 河川水位・雨量 東淀川 15分
 大阪上小橋観測所
 5.5m 観測中水位

視聴方法

- NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

【津波想定区域図】
http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/keikaku_higaisoutei/tunami_soutei.html
 想定される津波の浸水範囲、浸水深を確認できます。

【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】
http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/kouzuiyosoku/index_kouzui.htm
 流域内主要河川の氾濫情報が発表されているかなど、確認できます。

【おおさか防災ネット】
<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
 直接アクセスしてください。

大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>
 直接アクセスしてください。

防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net

西大阪ブロック河川整備計画(変更原案)の詳しい内容について知りたい方は

(1)以下のホームページに掲載しています。
 ・大阪府都市整備部河川室
http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/

(2)以下の場所に資料を備えています。
 ・大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
 ・大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
 ・大阪府西大阪治水事務所
 ・大阪市役所および各区役所市政情報コーナー

インターネットで「大阪府 西大阪 意見募集」と入力検索してください。

大阪府 西大阪 意見募集 **検索** **クリック!!**

閲覧と意見募集期間は、
 令和元年10月16日(水)から10月31日(木)まで

ご意見はこちらまで

「いただいたご意見を踏まえ河川整備計画の対応方針の検討を進めてまいります。」

〒550-0006
 大阪府大阪市西区江之子島2丁目1-64
 大阪府西大阪治水事務所企画防災グループ あて

「FAXの場合」
 FAX 06-6541-9477 大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて

「電子メールの場合」
 メールアドレス nishiosakachisui-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp 大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて

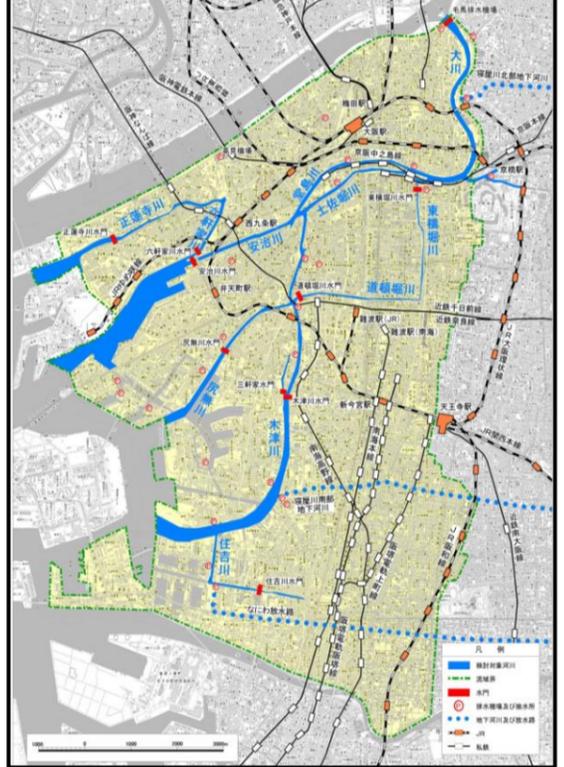
西大阪ブロック河川整備計画(変更原案) <概要版>

令和元年11月11日(月)
 令和元年度 第3回
 大阪府河川整備審議会 参考資料2

河川整備計画の対象期間 本計画の対象期間は、計画策定から概ね30年とします。

●流域の概要

- 西大阪ブロックは、旧淀川(大川、堂島川、安治川)、土佐堀川、木津川、尻無川、東横堀川、道頓堀川、住吉川および正蓮寺川、六軒家川の流域から構成されています。これらの河川は大阪の中心市街地を網状に流れて大阪湾に注ぐ河川です。
- 大阪市は、我が国の主要都市の中でも有数の人口密度、事業所数を誇る大都市であり、これらの河川はその中核部を流れています。
- 対象河川は全て感潮河川で勾配もほとんどなく(縦断勾配1/12,500~水平)、流れは緩やかです。

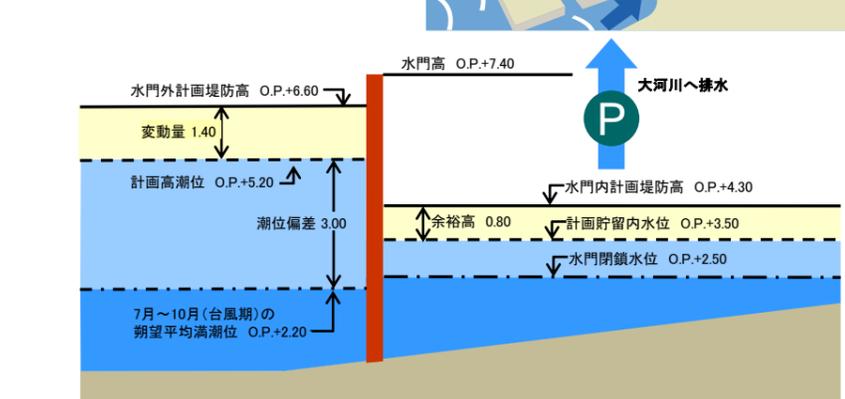


●治水対策の現状

- 西大阪地域は、台風による高潮によりこれまで多くの被害を受けてきており、昭和40年から伊勢湾台風級の台風が最悪となる室戸台風のコースを通過して満潮時に来襲したことを想定して防潮施設整備に着手しています。
- 昭和52年度から震度5程度の地震に対する耐震事業、平成8年度から阪神・淡路大震災を契機に震度6弱の地震に対する耐震事業に着手しています。

●高潮対策の概要

- 旧淀川筋の防潮方式については、大型の防潮水門による方式を採用し、高潮時には防潮水門を閉鎖して高潮の遡上防御を図っています。
- 安治川、尻無川、木津川には国内では珍しいアーチ型の大水門が昭和45年に建設されています。



河川名	指定区間延長 (km)	流域面積 (km ²)
旧淀川 (大川・堂島川・安治川)	13.83	288.0 (流域面積に寝屋川流域含む)
土佐堀川	2.45	
木津川	8.80	
尻無川	4.10	
東横堀川	2.175	
道頓堀川	2.745	10.8
住吉川	3.05	
正蓮寺川	4.60	
六軒家川	1.45	

河川整備計画の目標

- 高潮対策** ⇒ 現状のレベルを維持するとともに、近年の気候変動による台風の強大化や、計画規模を上回る洪水が発生すること
も十分考えられることから、最新の知見も踏まえた検討を進めます。
- 地震・津波対策** ⇒ L1(レベル1)地震動に対して堤防、水門、排水機場等の全ての河川管理施設が健全性を損なわないこと。
L2(レベル2)地震動【内陸直下型及び海溝型】に対して堤防については、地震後においても、L1(レベル1)津波高
以上の高さを確保する。水門、排水機場については、開閉及び排水の機能を保持すること。
- ※L1(レベル1)地震動：構造物の供用期間中に発生する確率が高い地震動。
※L2(レベル2)地震動：対象地点において現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動。そのうち海溝型については南海トラフ巨大地震
と定義されている。
- ※L1(レベル1)津波：百年から百数十年に一度程度で到達すると想定される津波。
※L2(レベル2)津波：千年に一度、もしくはそれ以上の間隔の頻度で発生する地震による津波を想定。
- 洪水対策** ⇒ 現況レベルを維持します。(時間雨量80ミリ)
- 河川空間の
利活用** ⇒ ○まちづくりと連携した水都として魅力ある水辺景観の創出や、橋梁や護岸等のライトアップによる夜間景観の創造と維持を目
指します。
○水都の魅力を高めるハード整備と、安全に裏付けされた舟運の活性化や、水辺の利用を促進するソフト事業を効果的に展開す
ることにより、水辺の活力を都市の活力や魅力につなげ、まちと水辺が一体となった河川空間の創造を目指します。
○河川空間の多様な利活用ニーズを把握し、水辺を活かしたまちの賑わいづくりへの気運や民間活力を支援することで、地域の
特性や実態を踏まえた、水辺の賑わいの創出に努めます。
- 河川環境と
整備の保全** ⇒ ○上流域の寝屋川流域や下水道関係機関と連携し、高度処理の導入や雨天時の合流式下水道からの汚濁水の流入対策を実
施すること等で、さらなる水質の向上を目指します。
○ダイオキシン類についても継続的にモニタリングを実施し、環境基準の達成・維持に向け、必要に応じて効果的な対策を検討
することで、健全な川の姿を保全するとともに良好で安全な水辺環境の創出に努めます。
○自然環境機能の保全・再生に努めるとともに、施設の整備時には緑化を行うことにより、良好な都市環境の創出に努めます。
- 維持管理** ⇒ 河川の特性や施設の劣化状況を踏まえつつ、計画的な維持管理を行い、災害の発生を未然に防ぎます。
- 三大水門の改築** ⇒ 老朽化が進んでいる三大水門を高潮への対策に加え、南海トラフ巨大地震等による津波にも対応できる新たな水門と
して改築します。

河川整備の実施

地震・津波対策

防潮堤の地震・津波対策

旧淀川(安治川)、木津川、尻無川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、
住吉川では、地震津波対策として、防潮堤の耐震補強を行います。また、
大水門閉鎖に伴う水門下流域への反射波の影響に応じて必要な対策を実施
します。

水門・排水機場等の地震・津波対策

南海トラフ巨大地震等対策として、各水門の耐震補強を行うとともに、迅
速かつ確実な操作を可能にするため、水門遠隔操作の伝送路二重化や自動
化、鉄扉の電動化を進めます。また、三大水門は、現水門付近に高潮だ
けでなく、津波にも対応できる水門として改築を行うこととします。

河川名及び 施工場所	整備対象区間	事業内容	整備 主体	対象区間整備延長 (片岸延長)
旧淀川 安治川	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	約0.1km
木津川	全川	防潮堤耐震補強	〃	約3.4km
尻無川	全川	防潮堤耐震補強	〃	約0.1km
六軒家川	全川	防潮堤耐震補強	〃	約2.2km
東横堀川	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約4.4km
道頓堀川	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約2.4km
住吉川	全川	防潮堤・水門耐震補強	〃	約3.6km
各河川の水門、鉄扉		伝送路二重化・自動化 電動化	大阪府	—
三大水門(安治川、木津川、尻無川)		改築	〃	—
旧淀川(安治川、堂 島川)、土佐堀川、尻 無川、木津川	四つ橋より下流側	堤防機能高度化	〃	市街地再開発等 との調整が図れ た区間

※本表については、今後、さらに詳細な評価検討を踏まえ対策区間が
変わる可能性があります。

三大水門改築イメージ

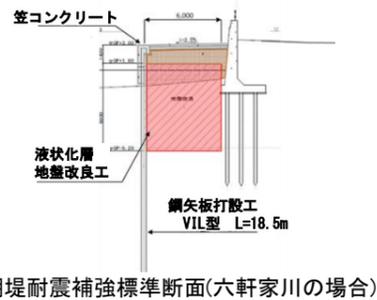
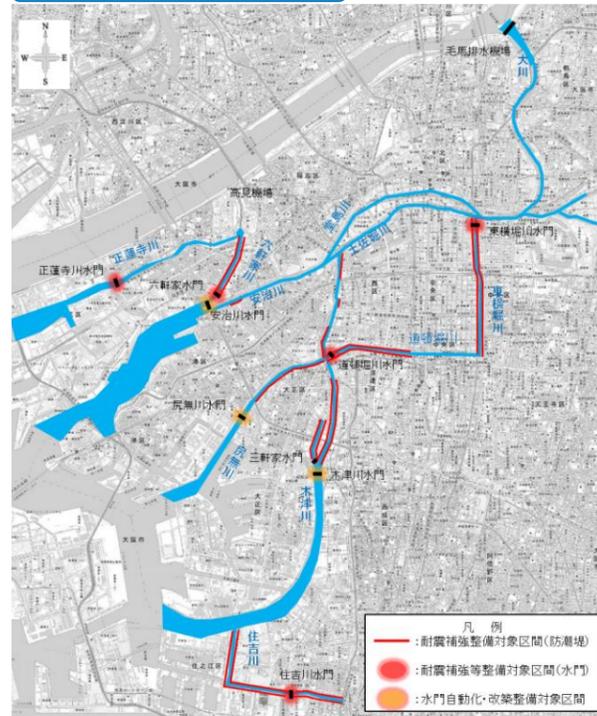
【現況：パイザーゲート式】



【整備後：ローラーゲート式】



計画対象区間



河川空間の利活用

西大阪ブロックの水都事業

水辺拠点としての船着場整備、水辺の環境整備、護岸
緑化などの整備の実施にあたっては、水の回廊とその周
辺部に広がる水辺拠点を対象に「水と光のまちづくり推
進会議」で決められた内容に基づき、地元住民や関係機
関との連携を図りながら、整備を進めます。
スーパー堤防及びこれに伴う環境整備は、沿川地域の
再開発等と調整が図れた箇所について実施します。

計画対象区間



河川の維持管理

○河川の維持管理は、災害発生の防止、河川の適正な利用、
流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点
から、河川の有する治水・利水・環境などの機能を十分に発揮
させるよう適切に行います。



- 施設の定期点検や必要に応じた緊急点検を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握
- 特に、大阪府管理の水門については、出水期では月2回(通常は1回)、定期試運転を実施
- 河道内の管理については、三大水門が正常に稼働するよう定期的に浚渫を行うとともに、
他の箇所でも必要に応じ、浚渫を実施
- 許可工作物の管理者に対しても、適切に点検を実施し、維持修繕を行うよう周知徹底
- 多くの人が川に親しみ、愛着をもてるように、さまざまな地域団体の活動や教育機関と
連携し、河川美化活動や環境学習の促進等に努めます
- 河川区域で違法に行われている耕作、工作物の設置等を監視・是正するため、定期的
に河川巡視、地域や関係機関との連携により、監視体制を重層化
- 舟運などの水面利用に配慮し、注意を喚起する表示板やパイの設置などに努めるとともに、
航行ルールの啓発に努めます

地域や関係機関との連携

- 西大阪ブロックでは、水都再生などまちづくりや都市魅力づくりに関する整備
や、高潮・津波対策などの防災施設に関する整備を行っていますが、これら事
業の推進には市民や地域活動、行政組織など関係機関との連携が重要になっ
ています。
- 高潮や津波などの水害からまちを守るため、対象河川では人的な操作により
水門や防潮鉄扉等の閉鎖を行う必要があり、そのうち防潮鉄扉の操作は地元
の水防団や民間の鉄扉利用者により行われます。そのため日頃から施設操作
の重要性についての認識が深まるよう啓発に努めるとともに、非常時に迅速な
対応ができるよう訓練を実施し、施設操作の習熟と連携強化に努めます。



訓練の様子(訓練本部) 訓練の様子(公道鉄扉の閉鎖訓練状況)

河川情報の提供、防災学習、啓発の取り組み

- 地震・津波等による災害発生時に市民が安全に避難できるよう、ハザードマップ等の
周知や啓発に取り組み、市民の防災意識の醸成に努めます。また、高潮、津波及び
洪水に関する防災情報や河川管理施設の被災状況などを周辺住民や河川利用者に
迅速に周知する方策を検討し、実施します。
- 実際の避難行動に役立つよう、洪水、高潮、地震・津波、内水被害等に対する被害分
析を行い、大阪市の関係部局や公共・公益施設管理者等への情報提供を行うとともに、
災害時に的確で迅速な避難が可能となるよう市民や大阪市などの関係機関と連携した
避難訓練等の実施を通じて、地域防災活動が円滑に推進できるよう支援を行います。
- 今後も活性化が見込まれる舟運を見据え、水面利用者等と連携し、位置情報システム
等、航行の安全を支援する情報発信について検討を行います。また、占有者の防災意
識向上を図るなど、利用者の安全確保に努めます。
- 防災啓発活動の一環として、津波・高潮ステーションでは、過去の津波・高潮災害に関
する資料や防潮鉄扉模型、南海トラフ巨大地震に伴う浸水想定図の展示など、防災啓
発に関する資料展示を行っています。
- 今後もより周知に努め、津波・高潮に関する府民の防災意識の向上等を図ります。

●津波高潮ステーションの概要
入館料 無料
開館時間 午前10時から午後4時
休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)、
年末年始
住所 〒550-0006 大阪市西区江之子島二丁目1-64
最寄駅 Osaka Metro 阿波座駅(8番・10番出口より徒歩2分)
電話番号 06-6541-7799

